

浦河町社協だより

ゆうなぎ

No.31



～ 浦河町老人福祉大会 / 高齢者劇団「座・タクアン」による演劇風景～

平成 23 年 3 月発行
社会福祉法人浦河町社会福祉協議会

本号の内容

平成 22 年度事業経過報告	・・・	2 ページ
各種団体の活動紹介	・・・	3 ～ 5 ページ
地域福祉に関する情報提供	・・・	6 ページ
共同募金運動ご協力のお礼	・・・	7 ページ
愛情銀行へのご寄付	・・・	8 ページ

～ この社協だよりは、共同募金の配分金の一部が使われています～

平成22年度事業経過報告

浦河町社会福祉協議会は、「地域で安心して生活できるまちづくり」を重点目標として、今年度の事業を展開しております。

本号では、今年度の事業の様子や進捗状況をいくつか紹介するとともに、来年度に向けた取り組みの経過についてもお知らせいたします。

～浦河町社会福祉協議会では以下のような事業を行っています～

- (1) 要援護世帯の把握と各関係機関との連携
- (2) 地域福祉ネットワークづくり
 - ・自治会福祉部の設置推進
 - ・小地域ネットワーク活動推進会議の開催【6ページ参照】
- (3) 広報誌などを活用して、地域福祉・在宅福祉に関する情報を提供しています。
- (4) 心配ごと相談所の運営
- (5) 介護保険サービス事業等の実施
- (6) 障害福祉サービス事業の実施
- (7) 高齢者生活支援等サービス事業の実施
 - ・生活支援サービス（給食サービス、通院・外出等支援サービス、軽度生活支援サービス）
 - ・電話サービス事業（受託事業）
 - ・高齢者等電話サービス事業（独自事業）
- (8) 地域福祉の拠点づくり
- (9) ボランティアセンター事業の推進【ボランティア情報誌「かけはし」に掲載】
- (10) 住民参加型在宅福祉サービスの推進
- (11) 託老事業「愛の会」の支援【3ページ参照】
- (12) 「ふれあいサロン」の実施【ボランティア情報誌「かけはし」に掲載】
- (13) 地域福祉・在宅福祉サービスを担うマンパワー育成の支援【6ページ参照】
- (14) 地域福祉権利擁護事業の支援
- (15) 託児グループの支援
- (16) 自立と社会参加活動の推進（各団体の支援）
 - 社協が事務局を担っている団体／浦河町老人クラブ連合会【4～5ページ参照】
 - 身体障害者福祉協会浦河協会【3ページ参照】
 - 浦河町老人と共に歩む会
- (17) その他の事業
 - ・共同募金運動の協賛（「浦河町共同募金委員会」の運営【7ページ参照】）
 - ・生活福祉資金貸付事業
 - ・母子・寡婦福祉資金貸付事業
 - ・母子等福祉資金貸付事業
 - ・介護機器等貸与事業
- (18) 災害時要援護者データ整備事業（単年度受託事業）【6ページ参照】

～本誌前号「事業計画」より抜粋しています～

前号の残部が若干ございますので、ご希望の方は当社協(22-6800)までご連絡ください。

「支えあい・わかちあいを絆に…」

～身障浦河協会で仲間の輪を広げませんか？～

身体障害者福祉協会浦河協会（身障浦河協会）は、身体障害者の自立と社会参加の推進に寄与し、その生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に、昭和42年4月に設立された団体です。

現在会員の減少と高齢化がみられ、浦河協会独自の行事は減りつつありますが、日高管内の行事の際は会員一人ひとりが力を合わせて絆を深めています。

これまでは会員の紹介でなんとか新規加入を促してきましたが、近年は特に会員の減少が著しい現状にあります。浦河協会では新しい風を吹かせてくれる方をお待ちしています!!

会員の種類 /

- ・普通会員：浦河町在住の身体障害者福祉手帳保持者
- ・賛助会員：会の趣旨に賛同する者 に分けられます。

年会費 / 2,000円

入会申込 / 事務局（社会福祉協議会 / 22 - 6800）にご連絡ください。



管内スポーツ大会の予告(ご案内)

毎年6月の最終日曜日に開催され、開催地は管内7町を順番に巡っています（23年度開催地／えりも町）。

とても楽しいイベントですので、身障手帳をお持ちの方はこれを機に身障協会の取り組みにふれてみませんか？

開催日 平成23年6月25日（日）
開催地 えりも町
参加対象 身障手帳をお持ちの16歳以上の方
問合せ 事務局（社協 / 22 - 6800）まで



今年度(平取町開催)は参加者一丸となり、見事優勝しました!

活動開始からまもなく10年目! 託老事業「愛の会」



浦河町老人と共に歩む会が平成14年度から開設している託老愛の会（毎月概ね第3土曜日）は、75歳以上のお一人暮らしの方やひきこもりがちのお年寄り等を対象に、一人ひとりが住み慣れた地域で活力と潤いに満ちた生活を送ることができるよう支援しています。

この間、会員の有志を中心として一ヵ月も休まずに開設し、足かけ10年を経て円熟期を迎えています。

問合せは事務局（社協 / 22 - 6800）までどうぞ。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

【左上】利用者同志、レクリエーションで笑顔があふれます

【左下】毎月会員が考えた出し物で、盛り上がります

家庭的な雰囲気や食事の美味しさも好評です【右上、右下】



老人クラブ連合会の活動

写真は今年度の
行事の様子
です！

浦河町老人クラブ連合会（町老連）の行事は、道内研修旅行・老人スポーツ大会・老人福祉大会の三大大行事をはじめとして、女性部研修会や親睦パークゴルフ大会などがあります。また、管内行事（芸能発表大会・リーダー研修会・女性リーダー研修会など）への参加を通じて、町外のクラブ会員と交流を図る機会もあります。

町老連の行事に参加するには、まずは町内各地域で組織されている単位クラブに所属する必要があります。浦河町内には14の単位クラブがあり、クラブの規模や活動内容はさまざまですが、独自の活動を展開しています。

どのクラブも新しい仲間の加入を歓迎しています！

道内研修旅行（5月下旬～6月上旬／2泊3日）

行き先は町老連の理事会で決定されます。

来年度（23年度）は、すでに定山溪・札幌方面に決定しております。お楽しみに！



老人スポーツ大会（7月上旬）

全11種目を4地区対抗で競います。走ったり投げたりする種目だけでなく、頭を使うものや慎重さを競うもの、運を試すものなど、さまざまな種目を楽しむことができます。

毎年非常に白熱する大会です。



管内行事への参加

日高管内老人クラブ連合会が行う行事にも参加しています。

女性リーダー研修会(ブローチづくり、童謡唱歌の合唱)の様子



老人芸能発表大会の様子



老人福祉大会 (10月下旬)



歌や踊りなど、日頃の活動の成果を発揮する芸能発表大会です。若々しい歌声や息の合った踊りが披露され、毎年会場は盛り上がります。

また、永年功労者を表彰するとともに、交通事故から身を守るために啓発を行い、交通安全の励行を確認しています。



町老連の行事に関する問合せ・最寄りの単位クラブに関する問合せなどは、町老連事務局までどうぞ。

事務局(社協): 22 - 6800

関連事業のご報告とお知らせ

□□防災関連視察研修

9月1日～3日にかけて、国立身体障害者リハビリテーションセンターのご協力をいただきながら、社協役職員や民生委員、自治会関係者、町内施設関係者など12名で、北海道南西沖地震(1993.7)の被災地を訪問し、当時の生々しい現実を目の当たりにすることで、防災への意識を高めました。

地域の防災力の低下が言われていますが、日頃の地域のつながりの重要性を再認識する機会になりました。



<お知らせ(予告)>

自治会(福祉部)の皆様方と住みよいまちづくりについて語り合う「在宅福祉会議」を3月中旬に開催いたします。

本誌が配布される頃には自治会宛にも正式な文書を送付いたしますので、ご確認のほどお願いいたします。

□□災害時要援護者データ整備事業

災害時に援護を必要とする方の情報整備を目的に、浦河町からの委託を受けて昨年9月から6ヵ月間にわたり実施しました戸別訪問調査は、2月末をもって終了いたしました。

各種障がい者福祉手帳の交付を受けている方、65歳以上の独居高齢者世帯及び高齢者のみの世帯で、調査への同意をいただいた約3000件から、緊急時の連絡先や日頃利用しているサービス等を把握させていただきました。

集められた貴重な情報は、災害時の安否確認や万が一の事故等の際に役立てられます。

このたびの調査にご協力くださいました方々に心より感謝申し上げます。

□□感染症予防研修会

10月20日(水) 日高東部三町の社会福祉協議会に所属する介護職員を対象に、日常業務において必要な感染症予防に関する知識を習得することを目的に、研修会を行いました。

浦河、様似、えりも各町の社協において、訪問介護(ホームヘルプサービス)、通所介護(デイサービス)、訪問入浴介護、居宅介護支援(ケアマネジャー)等の業務に携わる職員約30名が出席して、日頃の業務に生かすべく学びを深めました。

なお、本事業は北海道が実施する福祉・介護人材確保緊急支援事業の補助金を活用して行いました。



共同募金委員会からご協力のお礼



共同募金運動へのご協力ありがとうございます

～住民の皆様方一人ひとりの思いが地域福祉推進につながっています～

毎年10月から12月までの期間で全国一斉に取り組まれる赤い羽根共同募金運動に、今年度も個人・団体・企業をはじめとした多くの皆様方のご協力を頂戴いたしました。まずは誌面を借りて、厚く御礼申し上げます。

今年度寄せられた募金は、来年度のさまざまな事業のために助成されることになっております。浦河町における助成先は浦河町共同募金委員会内に設置した「審査委員会」で協議し、決定しております。

年度明けに改めて本誌などを通してご報告いたします。

平成22年度募金実績額 1,420,206 円



赤い羽根共同募金運動の期間中、2回にわたり街頭募金を行いました。

ご寄付いただいた住民の皆様方、並びに街頭で呼びかけにご協力いただいたボランティアの皆様方、大変ありがとうございました。

【協力団体】

国際ソロプチミスト浦河の皆さん
浦河青年会議所の皆さん
ボランティアグループはまなすの皆さん



こぼれ話

募金運動と言われると、まず「赤い羽根」が思い浮かぶかもしれませんが、実は他にも羽根をシンボルマークにした募金運動は存在します。それぞれの運動には必ず意味や目的があり、その中に“ささえあい”や“たすけあい”の精神が宿っています【下表参照】。

羽根の種類	実施団体	目的
赤い羽根	共同募金会	さまざまな地域福祉活動のため
緑の羽根	国土緑化推進機構	森づくり・緑化推進のため
青い羽根	日本水難救済会	水難救助ボランティアの活動のため
水色の羽根	漁船海難遺児育英会	海難遺児の援助のため
黄色い羽根	(一部の地域で実施)	「交通安全運動」や「腎臓移植の啓発推進」のため
黒い羽根	朝日新聞社(現在は未実施)	炭鉱失業者の救済のため

